

平成26年度 第2回 大阪府動物由来感染症対策審議会

■日時：平成27年3月24日（火）14:00～16:00

■場所：大阪府立公衆衛生研究所4階講堂

■出席者（敬称略）：

氏名	所属・職位
小崎 俊司	公立大学法人 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 名誉教授
松林 驍之介	公益社団法人 大阪府獣医師会 会長
吉村 高尚	大阪市保健所長
山崎 真理江	堺市保健所長
松本 小百合	東大阪市保健所長
松岡 太郎	豊中市保健所長
笹井 康典	枚方市保健所長
岩佐 昌史	大阪府市長会 代表
米田 正径	大阪府町村長会 代表
永井 仁美	大阪府健康医療部保健医療室医療対策課
西野 俊治	大阪府健康医療部食の安全推進課長
桐山 晴光	大阪府健康医療部環境衛生課長
西池 公男	大阪府環境農林水産部動物愛護畜産課長
宮園 将哉	大阪府保健所長会 代表
久米田 裕子	大阪府立公衆衛生研究所細菌課長
加瀬 哲男	大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課長
久留飛 克明	大阪府立箕面公園昆虫館長

欠席者（敬称略）：

氏名	所属・職位
宮川 松剛	一般社団法人 大阪府医師会 理事
細井戸 大成	公益社団法人 大阪市獣医師会 会長
高野 正子	高槻市保健所長
福島 俊也	大阪府健康医療部保健医療室長
山本 祥二	大阪府家畜保健衛生所長

■会議の成立

「大阪府動物由来感染症対策審議会規則」第5条第2項に規定される定足数（委員の過半数）を満たしており、有効に成立している。（委員数：22名 出席者：17名 欠席者：5名）

■議事内容

○議題

1 「平成26年度サーベイランス実施状況の概要について」

- ・第1回審議会で示した概要から大きく変更した部分はなかった。

2 「蚊が媒介する感染症のサーベイランス検査の結果について」

ウエストナイル熱、日本脳炎、デング熱及びチクングニア熱サーベイランス結果報告

- ・ 府内 15 ヶ所にて蚊を捕集・検査を実施したが、全て陰性。
- ・ 大阪市・堺市・東大阪市・高槻市・豊中市・枚方市においても計 42 ヶ所で蚊の捕集・検査を実施したが、全て陰性。
- ・ 堺市は公園 10 ヶ所でデング熱のサーベイランスを実施したが、全て陰性。

3 「動物（家きん）における鳥インフルエンザに関するサーベイランス検査の結果について」

- ・ 府内養鶏農家等でウイルス検査及び抗体検査を実施したが、全て陰性であった。
- ・ 水禽類の糞便検査や死亡野鳥の検査においても、全て陰性であった。
- ・ 世界及びアジアでの高病原性・低病原性鳥インフルエンザ発生状況
- ・ 国内における鳥インフルエンザ (H5N8) 発生状況及び人における鳥インフルエンザ A (H7N9) の発生状況

4 「アライグマに関するサーベイランス検査の結果について」

- ・ アライグマ防除実施計画に基づき府内で捕獲された個体から材料を採材し検査を実施。
- ・ レプトスピラ症は陽性率 6.8%。
- ・ トキソプラズマ症は陽性率 5.0%。
- ・ Q 熱は抗体検出されなかった。
- ・ 日本紅斑熱は陽性率 6.0%。

5 「その他のサーベイランス結果について」

- ・ 豚において、トキソプラズマ症 60 検体中 3 検体で抗体検出され、豚レンサ球菌が 9 頭中 1 頭で分離された。
- ・ 猫において、トキソプラズマ症 47 検体中 1 検体で抗体検出された。
- ・ その他の項目については、いずれも陰性であった。

6 「平成 27 年度実施計画（案）について」

- ・ BSE 死亡牛の検査対象は 24 ヶ月齢以上から 48 ヶ月齢以上に変更する。

7 「動物由来感染症疾患報告数」

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症：8 割は 0157 によるものであった。
- ・ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は中四国・九州中心に患者が確認されている。
- ・ 大阪におけるデング熱感染 21 例中、国内例は 3 例。他は海外からの輸入例。

8 「その他」